

# ふるさとなみえ科

◇ ふるさとなみえ科の目標

浪江の  
浪江町民を  
浪江の  
子どもたちの  
つなげる力で  
未来を拓く

[地域の福祉施設]



[再開した事業所]



[地域の伝統文化]



[地域おこしの団体]



[復興十日市祭]



[町役場]



[スポーツ  
フェスティバル]



[仮設住宅]



浪江町立浪江小学校・津島小学校

# ふるさとなみえ科 Q&A

浪江町立浪江小学校・津島小学校

## Q1 「ふるさとなみえ科」は、いつから、どうして始まったのですか？

A 1 東日本大震災の1年後、平成24年度から、地域の素材や人材を活用し郷土のよさを伝えるために「ふるさとなみえ科」を創設し、郷土を愛する心を育み、未来を創造的に生きぬくたくましい人間の育成を目指したいと考えました。

## Q2 「ふるさとなみえ科」は、主にどんな学習をしていますか？

A 2 浪江町の伝統や文化を体験したり、学んだりしています。例えば、大堀相馬焼、十日市祭、安波祭、なみえ焼麺等ですが、それぞれ体験や取材したことについて「なみえ子ども新聞」にまとめ、情報を発信しています。また、仮設訪問で浪江町の方との交流を通して学んだことをもとに、なみえカルタやなみえ数え唄作りに挑戦しています。



## Q3 「ふるさとなみえ科」を通して子どもたちにどのような変化が見られますか？

A 3 避難をしてふるさとを離れていますが、ふるさとを誇りに思う心、地域の方々に対する思いやりの心が育っています。また、ふるさとの伝統や文化の魅力を実感し、ふるさと学習に意欲的に取り組んでいるとともに、自分の未来を見つめ、将来への夢を考え始めています。

## Q4 「ふるさとなみえ科」において地域の方々と連携を図る上で、どのような工夫がありますか？ また、地域の方々に変化はありますか？

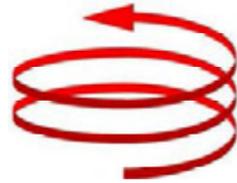
A 4 浪江町役場、浪江青年会議所、NPO法人新町なみえ、なみえ焼麺太国、陶芸の杜おおぼり二本松工房等の復興した事業所、仮設住宅の自治会長さん等と連携しながら外部講師を招いたり、校外学習に出向いたりして、体験的、探求的な学習を進めています。また、学習の成果をHPや学校だより等を利用して情報を発信することで、新しいつながりもでき、学校を取り囲む輪が広がっています。

## Q5 「ふるさとなみえ科」の意義について教えてください。

A 5 ふるさとを追われた子どもたちに自然豊かな風景や伝統文化を残していくためには、郷土を学ぶ学習が町の復興にも大いに活かされると考えます。



今まで学校、家庭、地域の人々に見守られていた子どもたちですが、新しい環境の中で生きていることを自覚することも大切です。新たな環境下では、学校が地域の方々に積極的に関わっていくことで、子どもたちの教育が、地域の方々をつなぐ役割を担い、ふるさとの未来を創造していく上で大切な役割を果たします。



地域に触れて、感じる、考える

地域を学び、発信する

地域の夢・地域の未来をつなぐ

単元名 浪江の伝統文化にふれよう

- 安波祭を引き継ぐ人
- 大堀相馬焼を伝える人々

伝統芸能の講話 ・ 伝統文化の見学



[浪江町に伝わる紙芝居の鑑賞] [伝統を受け継いでいる工房の見学]

単元名 浪江の人々と交流しよう

- ふるさとなみえ交流会
- つながろう！みんなに届け！！十日市祭

前回の活動・昨年までの活動の振り返り



[昨年度まとめた新聞から課題を見つける] [活動を振り返り課題を明らかにする]

【課題をつかむ】

- ふるさとの自然や伝統文化を体験したり、地域の人から話を聞いたりして、興味関心・疑問を持つ。

【情報を集める】

- 学習テーマに関する団体や施設を訪問し、インタビューをする。
- 地域の専門家の話を聞く。

【整理・分析する】

- 体験活動を通じてわかったことや集めた情報を振り分けたり、序列を付けたりする。
- 集めた情報をマップや図等で分類・整理・分析する。

【まとめ・表現】

- 作文や新聞等にまとめ表現する。
- まとめた内容を地域の人々に報告・発信する。

取材・体験活動



[安波祭保存会会長の講話] [伝統文化の体験]

交流活動・体験活動



[第1回のインタビュー] [第1回の交流会] [第2回の交流会] [十日市祭での発表・箸置き配付]

話し合いをとおして考えを共有する



[互いに発表し合う] [作品の品評をする]

集めた内容を整理する



[集めた情報まとめる] [付せん紙に書いて分ける] [地図上に整理する] [十日市祭の活動を振り返る]

子ども新聞やカルタの作成



なみえカルタの作成



数えうたづくり



子ども新聞づくり



【学習を支える柱】

・協同的な学び ・豊かな体験活動 ・多様な言語活動



各教科との関連